

12年10月
 第186号

区民グランド ゴルフ大会

◆とき 11月4日(日)
 午前9時集合 9時30分～プレー開始

◆ところ 伊祖公園

当日の飲み物、弁当などは自治会で準備します。例年通り、参加賞も多彩に準備中。健康づくり、お互いの親睦交流を深める機会でもあります。

みんなで楽しむ！秋の1日
 多数の参加 待ってまーす！

200人余の区民参加

地域初の津波避難訓練

準備期間が短く、不安の多い取り組みでしたが、関係者の予想を遙かに上回る多くの区民が参加、多くの面で成果を確認できました。所管の中央公民館スタッフ、実行委員会を構成した浦添市防災対策室や市社会



緊急避難場所のタケノ新シ。約150人の参加で上の広場からあふれるほど。集落がはるか下に見え、低地を実感。

福祉協議会、消防、警察、市民大学などから総勢30名以上が運営協力に駆けつけました。実り多い避難訓練となった最大の要素です。創価学会文化会館は避難先としての協力だけでなく、会館に所属する十数名のスタッフが誘導や炊き出し、消防訓練を含む会場の提供、スムーズな運営を全面サポートして頂きました。あらためて関係各位にお礼を申し上げます。

げます。

自治会では若手から中堅世代まで、避難誘導の重要な役割を担ってもらいました。いざというときの最も頼りとなる世代です。こうした世代の参加は今後の「自主防災組織」づくり、日常的な自治会活動強化に向けた組織再編論議で、ぜひとも継承発展させていきたいと思えます。本当にお疲れさまでした。



「緊急避難場所」として「タケノ新シ」は適しているだろうか？避難時に後方フェンスの開放は可能か？夜間利用は？など、会場で行ったアンケート調査でも多くの区民から課題点として

秋の花木植え

11月18日(日)

公民館周辺、イバノ正門前花壇、上港川緑地公園花壇などで行います。午前10時作業開始。植え付け前の土作り作業にも協力お願いします。

て指摘がありました。今後役員会で論議を深めたいと思っています。アンケート結果、詳細は次回号以降でお伝えします。
 (写真Ⅱ上段右は高齢者の手を引き坂を上がる高校生。上段左は車イスでも坂の移動が可能か試みました)

ゆくのときとときどき聞話

21日の津波避難訓練は、30代〜50代の中堅世代が区民誘導の核になって役割を果たしてくれました。その中で、高校生世代が坂入口でお年寄りや幼児の手を取り、誘導案内を手伝っていたのを覚えていいますでしょうか。平安山健人君、銘苺悠人君、大城佑也君、又吉真希君ら。

彼らは小学生の頃から公民館での諸活動で育ち、毎年の区民行事にも積極的に参加しています。高校進学後はそれぞれ歩む道が異なったため、4人が揃うのは久しぶり。訓練終了後夕方近くまで公民館で遊び、再会を楽しむ姿がありました。

実は彼らのこの光景こそ、現在の自治会活動が目指しているものです。地域に親しみ、一緒に住みあっている事を喜ぶ。災害時に求められる「絆」の原点、長じては「ふるさと」にも繋がるのではないかと。彼らに続く、子ども達の育成に地域社会の将来的な発展への展望があるーと信じています